



単水栓取扱説明書 (お客様用)

据付業者さまへのお願い

この取扱説明書と、保証書に貴店名ならびに
取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。

- このたびは、GROHE 製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書(付属の保証書)をお読みにになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次に入居される方にこの説明書と付属の保証書をお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名称	2
ご使用前に	2
ご使用方法	2
ご使用上の注意	3
寒冷地にて使用する場合	3
お手入れの方法	3
定期的な点検	4
故障かな?と思ったら(修理を依頼される前に)	4
定期的な部品交換	5
アフターサービスについて	5
認証登録番号	5

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
この説明書では、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この指示を無視して、誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

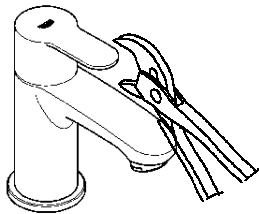
 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
 この絵表示は、「接触禁止」の内容です。	 この絵表示は、「分解禁止」の内容です。

⚠注意



分解禁止

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

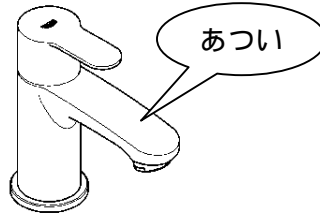


器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



接触禁止

高温の湯をお使いのときには吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。

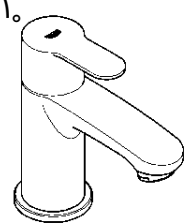


やけどするおそれがあります。



禁止

首振り操作はできません。乱暴に扱おうとゆるみを起こすことがありますので、首振り操作はしないでください。



ゆるみで家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。



禁止

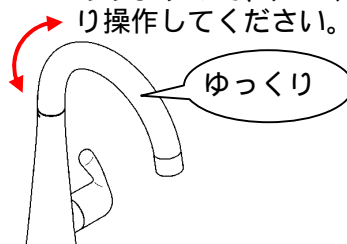
器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



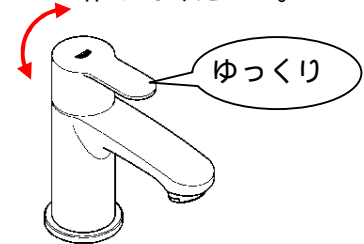
アラベスク、ゼドラ、K 4 の首振り操作を乱暴に扱おうと故障や事故を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。



故障・事故で家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。



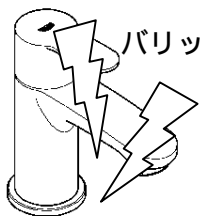
ハンドル操作の急停止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。



漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される際は、水抜き方法に従って配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

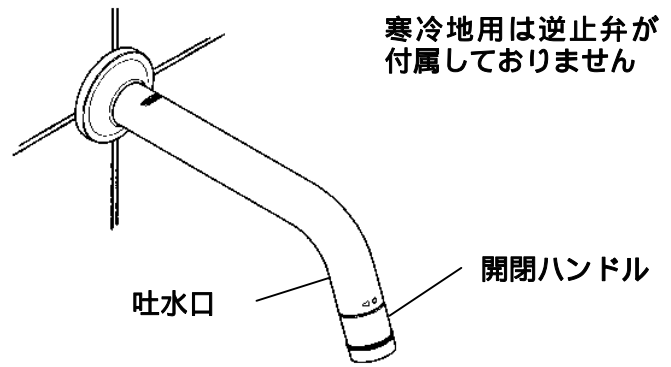
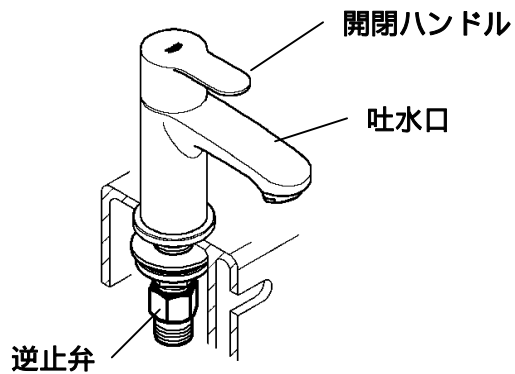


キャビネット内に物を出し入れするとき、給水管に引っ掛けるなど、無理な力が加わらないようにしてください。

給水管の外れや、破損による漏水の原因となります。

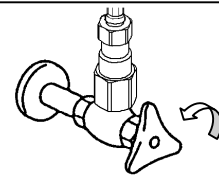
各部の名称

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



ご使用前に

- キャビネットの中に設置されております、止水栓が開いているか確認してください。閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。
図はアングル型止水栓で記載されておりますが、縦型止水栓についても同様です。



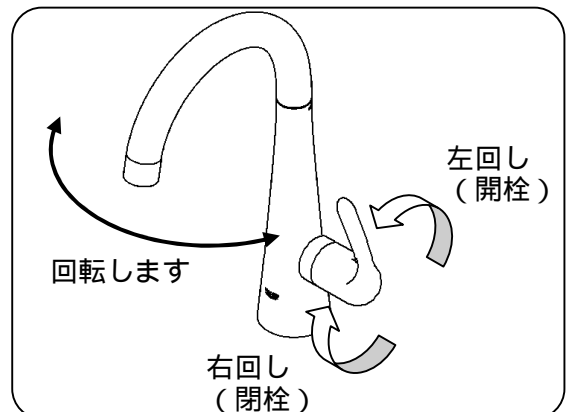
ご使用方法

1. 開閉ハンドル

● 開閉及び水量調整

本体の開閉ハンドルを回すことにより、バルブの開閉及び水量調整を行うことができます。

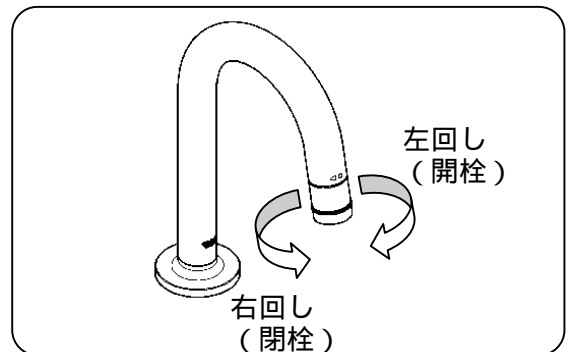
- 左に回して → 吐出が始まります
- 右に回して → 吐出が止まります
ユーロキューブ、ユーロスタイルコスモポリタン、コンチェット、ゼドラ、K 4 は約 90° で全開です。
アリア、アヴィーナは約 180° で全開です。
アラベスクは約 2 回転半で全開です。



2. 吐水口

● アラベスク、ゼドラ、K 4

吐水口は 360° 回転します。
ストッパーはありませんので、回転を選ばません。

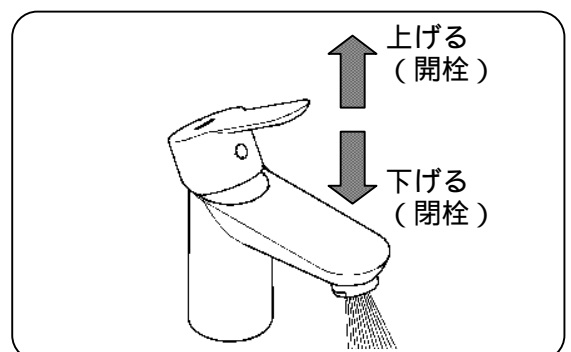


1. 開閉ハンドル (ユニバーサル)

● 開閉及び水量調整

本体の開閉ハンドルを回すことにより、バルブの開閉及び水量調整を行うことができます。

- 左に回して → 吐出が始まります
- 右に回して → 吐出が止まります
約 90° で全開です。



1. 開閉ハンドル (パウ)

● 開閉及び水量調整

本体の開閉レバーハンドルを上下に操作することにより、バルブの開閉及び水量調整を行うことができます。

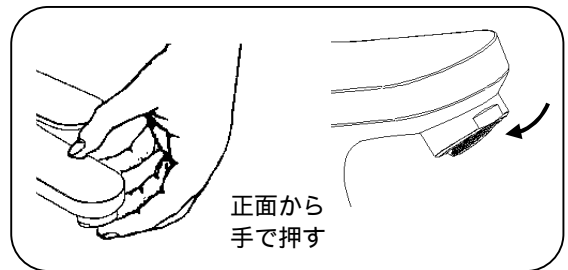
- レバーを上にあげて → 吐出が始まります
- レバーを下にさげて → 吐出が止まります
約 30° で全開です。

●エアレータ（角度調整タイプ）特殊受注品

洗面器に合わせて、角度を調整されております。清掃後や角度を変更した場合、角度の調整を行ってください。

深く押すほど、角度が大きくなります。

角度調整エアレータはプラスチック製ですので、破損等、取り扱いには注意してください。



正面から
手で押す

△注意 ご使用上の注意

● 開閉ハンドルの操作

ハンドル操作は、回転を急激に行わないでください。

急激な操作をすると水栓または、配管部で音がでたり、吐水温度が急激に変わります。

● 吐水口の乱暴な回転の禁止

吐水口オーリングが劣化してきますと吐水口の回転が重くなります。

その状態で吐水口を無理な力で回さないでください。

本体がゆるみ、給水・給湯管が外れるなど、破損による漏水の原因となります。弊社サービス課にご相談ください。

● キャビネット内を使用するにあたって

キャビネット内の物を出し入れするときは、給水・給湯管および逆止弁に引っ掛けるなどして、無理な力が加わらないようにしてください。

給水・給湯管および逆止弁が外れるなど、破損による漏水の原因となります。

寒冷地にて使用する場合

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 逆止弁の取り外し（寒冷地用は付属しておりません）

給水・給湯管を逆止弁から取り外してください。

水栓または止水栓から逆止弁を取り外してください。

内部の逆止弁を取り外してください。

水抜き操作後は必ず元に戻してください。

寒冷地用として、逆流防止を別の部分に設置した場合は、内部の逆止弁を取り外してください。

2. 水栓の操作

逆止弁が取り外してあるか確認してください。

（寒冷地用には逆止弁は付属しておりません）

屋外の給水栓を閉じ、不凍栓を開放してください。

水栓の開閉ハンドルを開栓してください。

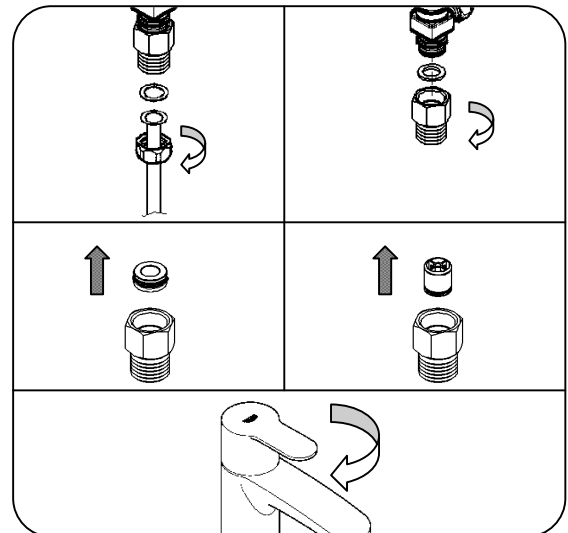
水栓内の水は配管へ流し、ドレンバルブ等で開放してください。

水抜けが悪い場合は、吐水口の整流器を外してください。

冬期、水栓内部の水が凍結すると、本体部分および部品が破

損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。

水抜き操作後は必ず水栓のハンドルを閉栓してください。



お手入れの方法

汚れた場合は

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 表面が汚れたら、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤をふくませた布で、ふきとってください。そのあと水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
- お手入れの際は、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・塩素系洗剤・シンナー・ベンジン及びナイロンタワシなどは、器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分に洗い流してください。

エアレーターの清掃

整流器（エアレーター）のゴミ詰りは機能を低下させます。

ときどき次の要領で清掃してください。

ハンドルを止水状態にしてください。

整流器（エアレーター）をゆるめてください。

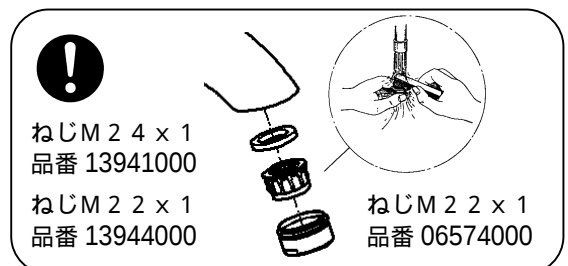
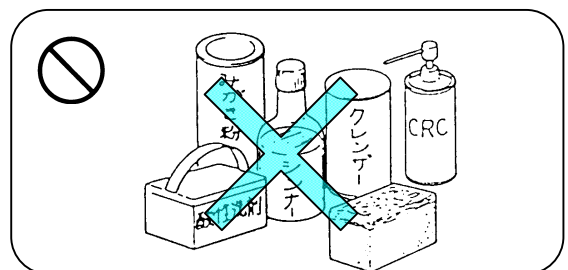
整流器の（エアレーター）ゴミを取り除いてください。

M24 の工具は 2.2 mm スパナになります。

M22 はゴム手袋などを使用してください。

新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事が あります。

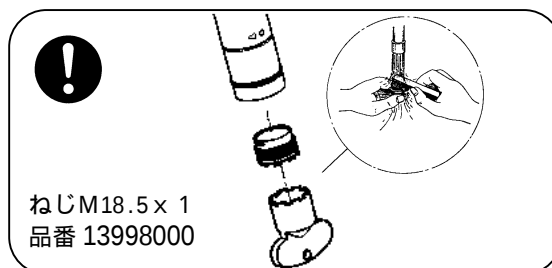
よく水洗いしてください。



エアレーターの清掃

ユニバーサル

ハンドルを止水状態にしてください。
整流器（エアレーター）をゆるめてください。
整流器の（エアレーター）ゴミを取り除いてください。
工具を使用して確実に締め付けてください。
新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事が あります。
よく水洗いしてください。



△注意 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

- 配管まわりの水漏れ（１ヶ月に１回程度）
配管まわりの水漏れがないか確認してください。

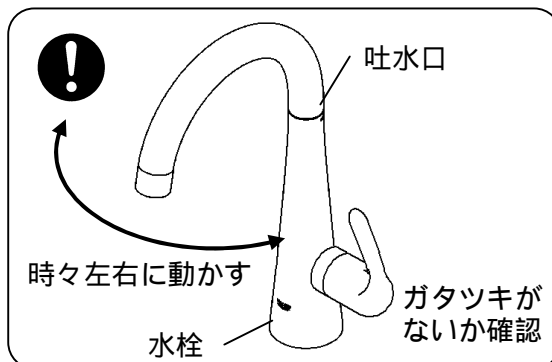
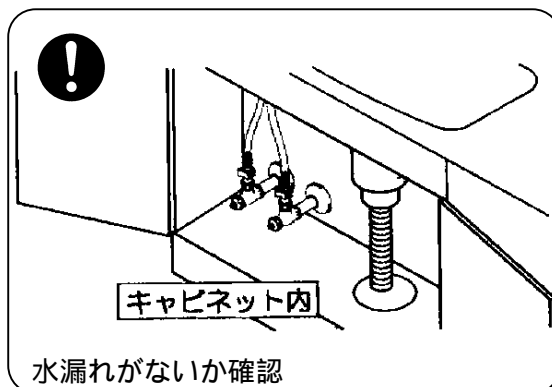
部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。

- 水栓のガタツキ（１ヶ月に１回程度）
水栓のガタツキがないか確認してください。

ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- 吐水口の回転（１ヶ月に１回程度）
時々吐水口を左右に動かしてください。

吐水口を長期間回転させずにご使用になると回転部に水アカ等が付着し、回りにくくなることがあります。また無理に回そうとすると水漏れの原因になります。

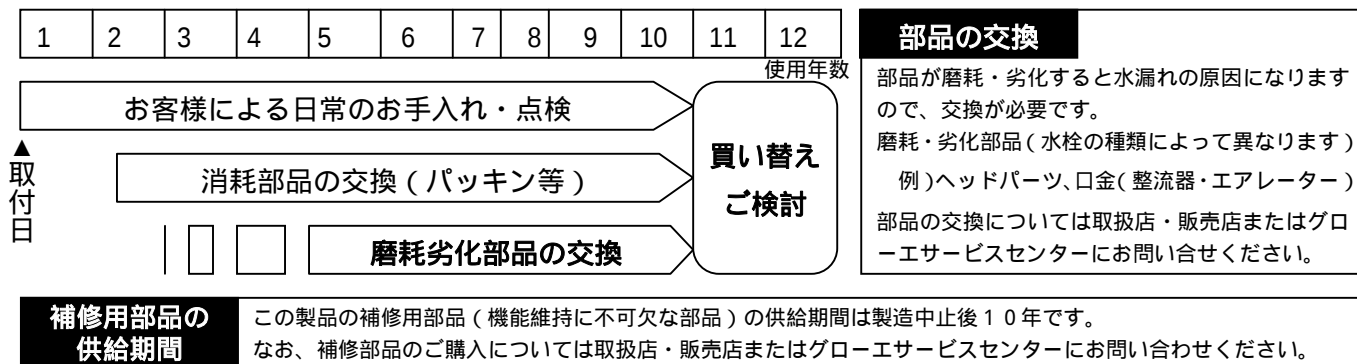


故障かな？と思ったら（修理を依頼される前に）

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
● 吐水量が少ない （少なくなってきた）	配管内のゴミが口金にたまってきた。 給湯器の温度設定が不適切である。	(1) 吐水口先端の整流器（エアレーター）にゴミ詰りがいないか確認してください。 上記「エアレーターの清掃」をご参照ください。 (2) ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
● お湯にならない	給湯器から十分なお湯がきていない。	(3) 給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。
● 水の量が多すぎて使いづらい ● 使用時に高い音がする	水の圧力（勢い）が強過ぎる。	(4) 上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
● 完全に止水できない	内部ヘッドパーツにゴミが付着、または破損している。	(5) 販売店、据付業者に連絡してヘッドパーツを洗浄、または交換する。
● 吐水口回転部より水が漏れる	吐水口オーリングにゴミが付着、または破損している	(6) 販売店、据付業者または弊社サービス課に連絡してオーリングを洗浄、または交換する。
● 吐水口が動かない、動きが重い	吐水口オーリングが劣化してきた。	(7) 販売店、据付業者、または弊社サービス課に連絡してオーリングを交換する。

上記処置で故障が直らない場合は、販売店、据付業者または当社サービス課へご相談ください。
上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）



アフターサービスについて

修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはサービスセンター（リクシルトータルサービス内）に修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 | 3. 品番（保証書または品番一覧表） |
| 4. ご購入日 | 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問日 |

修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター
0570-666-368

受付時間 平日 9:30～17:30（受付・お問い合わせ）
平日夜間・土・日・祝日 24時間（受付のみ）

単水栓 一般地用

品質確認実施工場
認証登録番号
特記事項

グローエジャパン 株式会社 検査試験室
C-89
なし

単水栓 寒冷地用

品質確認実施工場
認証登録番号
特記事項

グローエジャパン 株式会社 検査試験室
C-150
寒冷地用（耐寒性能適合品）「寒・逆止無し」

グローエジャパン株式会社

〒136-8535 東京都江東区大島 2-1-1
TEL 03-6748-1180 FAX 03-6748-1181
〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町 4-3-5 本町サミットビル 3 階
TEL 06-4708-6340 FAX 06-4708-6485
GROHEJAPAN ホムページ <http://www.grohe.com/jp>